

2024 年度 日本建築学会東海支部研究集会

- 主催 日本建築学会東海支部
- 日時 2025 年 2 月 20 日 (木) 9:00~17:00 (予定)
一般講演+シンポジウム (於: X(クロス)棟 2 F 講義室)
2 月 21 日 (金) 9:00~17:00 (予定)
一般講演 (於: X(クロス)棟 2 F 講義室)
- 会場 大同大学 (滝春キャンパス X(クロス)棟 2 F 講義室)
公共交通機関: 名鉄常滑線「大同町駅」徒歩 3 分
アクセスマップ: <https://www.daido-it.ac.jp/outline/access/>
キャンパスマップ: <https://www.daido-it.ac.jp/life/institution/kounai/> (マップ内の 1 6 の建物)

※ 会場には一般駐車場はありません。また周辺は駐車禁止区域になっております。
自家用車での来場はご遠慮ください。

■ 一般講演・シンポジウム

1. 一般講演

建築 CPD
認定プログラム

- ・会場: X(クロス)棟 2 F
- ・講演時間: 1 題当たり 1 2 分 (発表 9 分・質疑 3 分)
- ・使用できる映写機器 PC プロジェクター
※データファイルを保存した PC 持参のこと。
(使用に関しては Web ページ参照)

1) 材料・施工	2 月 2 0 日 (木)	9 : 0 0 ~ 1 1 : 5 2	会場: X 0 2 0 1 室
2) 構 造	2 月 2 0 日 (木)	9 : 3 0 ~ 1 1 : 5 0	会場: X 0 2 0 5 室
	2 月 2 1 日 (金)	9 : 3 0 ~ 1 5 : 2 0	会場: X 0 2 0 5 室
3) 環境工学	2 月 2 0 日 (木)	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 4 0	会場: X 0 2 2 1 室
	2 月 2 1 日 (金)	9 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0	会場: X 0 2 2 1 室
4) 建築計画	2 月 2 0 日 (木)	9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 2	会場: X 0 2 0 3 室
	2 月 2 0 日 (木)	9 : 3 0 ~ 1 1 : 5 0	会場: X 0 2 0 4 室
	2 月 2 1 日 (金)	9 : 3 0 ~ 1 5 : 0 8	会場: X 0 2 0 3 室
	2 月 2 1 日 (金)	9 : 3 0 ~ 1 4 : 5 6	会場: X 0 2 0 4 室
5) 都市計画	2 月 2 0 日 (木)	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 4 4	会場: X 0 2 2 2 室
	2 月 2 1 日 (金)	9 : 3 0 ~ 1 4 : 5 6	会場: X 0 2 2 2 室
6) 歴史・意匠	2 月 2 1 日 (金)	1 0 : 5 0 ~ 1 6 : 5 0	会場: X 0 2 2 3 室

2. 設計競技支部入選者表彰式

2 月 2 0 日 (木) 1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 2 0 会場: X 0 2 0 2 室 (X(クロス)棟 2 F)

3. 東海賞授与式

2月20日(木) 13:20~14:20 会場：X0202室(X(クロス)棟 2F)

4. シンポジウム

2月20日(木) 14:30~16:30(予定) 会場：X0202室(X(クロス)棟 2F)

テーマ：「羽島市役所旧本庁舎を巡る RC 造近現代建築の保存利活用について」

■ その他

- ・両日とも必ず受付をしてください。
- ・一般講演への参加・聴講には下記の通り**参加費**が必要です。会員の方は**会員証**をご持参ください。
 - A) 無料：発表登録者本人、CD-ROM 購入の方、学生(大学院、学部、高専など)
 - B) 会員 1,000 円(不課税)・非会員 1,100 円(税込)：上記以外の方(含、共著者)

■2024 年度(第 39 回) 日本建築学会東海支部東海賞・受賞者および内容

1) 論文賞

- ・仲田 章太郎 君(豊橋技術科学大学)
「下弦材に座屈拘束部材を挿入した損傷制御型トラス梁に関する研究：座屈拘束部材直上の節点における付加曲げの評価」
- ・パクミンジョン 君(豊橋技術科学大学(岡山大学在籍時の業績))
「国立療養所長島愛生園における患者住宅の建設過程とその特徴」

2) 作品賞

- ・山口 智三 君(株式会社 日建設計)
「豊田自動織機 厚生棟」
- ・坂本 達彦 君(清水建設株式会社)
「御福餅本家 本店」

※審査評は追って『建築雑誌』に発表します。(4月号予定)
所属は応募時点のものです。

■2024 年度東海支部研究集会シンポジウム

建築 CPD 単位
認定プログラム

「羽島市役所旧本庁舎を巡る RC 造近現代建築の保存利活用について」

趣旨：2024 年 6 月、坂倉準三(1901-1969)が自らの故郷のために設計した「羽島市役所旧本庁舎(1959)」の解体工事が始められた。国内のみならず海外でも高い評価を受けた RC 造 5 階建ての建物は、瓦礫に帰した。この間、日本建築学会東海支部歴史意匠委員会では、数度に渉り「保存活用要望書(2022/3, 2023/9)」「保存活用計画検討案(2022/3)」「羽島市役所旧本庁舎利活用の提案書(2022/9)」を提出し、建物の持続的利用を訴えた。今回のシンポジウムでは、上記関係者が継続して行なって来た同建物に関する調査結果について報告した上で、20 世紀中盤に建てられた RC 造建築の保存利活用の現状と今後の展望について討論する。

主催：東海支部歴史意匠委員会

日時：2025 年 2 月 20 日(木) 14:30~16:30(予定)

場所：大同大学

講演者：中川武（博物館 明治村）、三浦彩子（名城大学）、土屋和男（常葉大学）、清水隆宏（愛知工業大学）、大井 隆弘（三重大学）ほか

参加：無料

※プログラムの詳細は東海支部 Web ページをご覧ください。

■日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞概要

1. 主旨

日本建築学会東海支部研究集会における若手の優秀な講演を顕彰し、当支部の研究活動の活性化を図ることを目的とする。

2. 審査の対象

東海支部研究集会で講演した高専学生、大学学部生・修士課程（博士前期課程）大学院生のうち、講演の優秀な方を表彰する。同一者による複数の講演は、それぞれを独立した講演とみなして審査するが、表彰は一人につき一件を上限とする。

3. 受賞者の数

受賞者の数は、全審査対象数の 10%程度とする。

4. 審査方法

審査は発表分野ごとに行う。

5. 受賞者の表彰と公表

表彰は「日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞」と称し、賞状を贈呈する。公表は、受賞者の氏名、所属を東海支部の Web ページに掲載するとともに、建築雑誌にも掲載する。